

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」・第4回実証試験の開催概要



- インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」は、地方自治体（施設管理者）が抱える施設管理に関する課題に対し、民間事業者が課題解決に繋がる技術等を紹介する**実証試験**を実施しました。
- 第4回実証試験では、津山市から提供されたニーズ「**道路区画線の摩耗対策**」に対して、民間企業1社（株式会社キクテック）が製品の紹介を行った後に、現地において試験施工を行いました。今後、試験施工後の効果検証を踏まえて実装に向けた検討が進められます。

■日 時：令和4年9月29日（木）14:00～15:30 ■場 所：岡山県津山市林田地内

■参加者：14名【施設管理者 津山市：3名/ 民間企業(キクテック)3名 / 施工者(山陽ロード工業)2名、(末沢建設)1名) / インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員：3名/ 中国地方整備局：2名】

○開会挨拶



インフラメンテナンス国民会議
企画委員リーダー
藤井 友行

○ニーズ提供者挨拶



津山市 都市建設部 土木課
課長補佐 森藤 幹夫

○閉会挨拶



中国地方整備局
企画部 広域計画課
課長補佐 今田 修

○製品の説明、現地での試験施工、報道

製品の説明
株式会社キクテック 製品名「ARライン」



現地での試験施工
山陽ロード工業(株)



報道



山陽新聞【9/30】



「標準品」と「ARライン」の材料説明



○市役所職員の感想 ➤ 製品の特徴や施工性を確認することができた。今後、主要な幹線道路の区画線に本製品を使用することを考えている。

施設管理者が抱える
維持管理の課題収集

↓

ピッチイベント
(課題を解決する技術の提案会)
第4回：R3.12.23

↓

実用化を検証する
実証試験
第4回：R4.9.29

↓

マッチング
(社会実装)



▲製品説明、質疑応答の様子